

一般国道329号西原道路における計画段階評価

1. 西原町周辺の課題

①県内有数の工業団地における社会基盤整備に関する要望

○西原町の製造品出荷額は沖縄県の約4割を占め、県内最大となっており、人口当り製造品出荷額等は、九州管内で5位となるなど、生産性の高い地域となっている。更なる生産性向上に向け、工業用地の拡充や幹線道路の整備に対する強い要望がある。(図1、2、3)

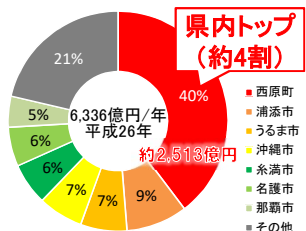


図1 製造品出荷額等のシェア (沖縄県)

資料:工業統計(H26)

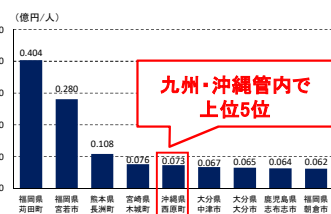


図2 人口当たり製造品出荷額等 (九州管内)

資料:工業統計(H26)、国勢調査(H27)

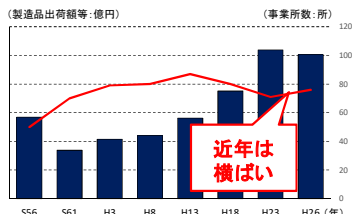


図3 製造品出荷額等及び事業所数の推移 (西原町)

資料:工業統計

②周遊観光による観光産業の振興

○東海岸地域には「勝連城跡」「中城城跡」「斎場御嶽」等の世界遺産をはじめ、多くの観光資源が点在しているが、当該地域を訪れる観光客は約1割にとどまっている。(図4)

○「大型MICE施設建設」「中城湾新港地区へのクルーズ船就航」等の各種プロジェクトが進行中。新たな観光拠点の整備が進められている。

○拠点間を結ぶ幹線道路の整備が遅れ、移動時間が長い。観光施設での滞在時間が十分に確保できない。

◇拠点間の所要時間※
中城港⇒MICE施設 40分(現況)
中城城跡⇒斎場御嶽 50分(現況)



図4 東海岸地域の来訪者数

資料:平成30年度観光統計実態調査

③交通渋滞による東海岸地域で唯一の幹線道路の機能低下

○国道329号は、小那覇、内間交差点等でピーク時を中心に慢性的な交通渋滞が発生。(図5)
○渋滞を避けた通過交通が生活道路に流入している。(写真1)

④災害時のリダンダンシーの確保

○小那覇交差点付近では大雨時に道路冠水が発生している。また、津波発生時において、臨海部の工業地域への影響はない。

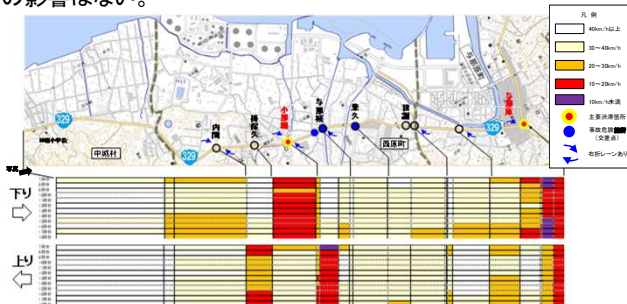


図5 平日12h平均旅行速度(国道329号)
資料:一般車プローブデータ(平日:令和元年4月~令和2年3月)



写真1 通過交通の状況 (中城村内の村道)

2. 原因分析

①地域間アクセス性の低下

○国道329号は工場関連の交通が約4割を占めているものの、産業活動を支援する道路基盤の整備が遅れており道路整備に対する不満、今後の道路基盤整備を求める意見が多い。(図6、7)

②地域間を連絡する広域ネットワークの不足

○当該地域と那覇港や中城湾港、更には、点在する観光資源を連絡する広域的な観光周遊ルートは国道329号しかないなど、地域間を結ぶ道路ネットワークが不足している。

③国道329号の幹線道路としての機能低下

○国道329号は狭小幅員(代表18m)を4車線運用しており、右折レーンがない交差点も多い。また、工業地帯への物流交通に加え、生活交通等の沿道出入等による交通阻害により速度低下が発生し、幹線道路としての機能が低下。(写真2)

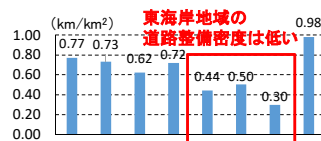


図6 道路整備密度(一般国道)

資料:統計でみる市区町村のすがた
※面積(H25値)、道路延長(H24値)

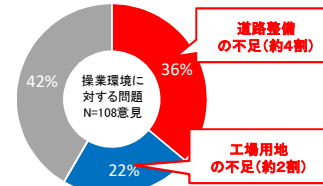


図7 操業環境の問題内容

※対象:小那覇工場用地内に立地する全事業所(141件)
実施:平成23年12月19日~12月28日
結果:回収率は87%(配布:141件、回収:122件)



写真2 小那覇交差点(渋滞状況)南一北

④代替道路がない脆弱な道路ネットワーク

○大雨時には、小波津川周辺で国道329号を跨いで広範囲で冠水が発生。小那覇交差点周辺では、数時間にわたり道路が冠水し通行止めが発生。(図8)

○事業中の与那原バイパスは、現道(国道329号)に接続していないためバイパス機能が不十分。



図8 道路ネットワーク及び周辺道路事業

3. 政策目標

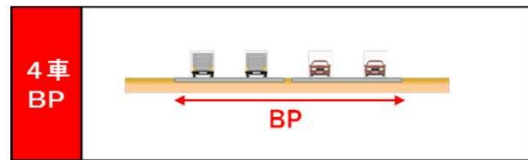
- ①産業振興を支援する道路ネットワークの強化
- ②周遊観光を支援する道路ネットワークの強化
- ③交通の円滑化
- ④災害時に強い道路ネットワークの確保

一般国道329号西原道路における計画段階評価

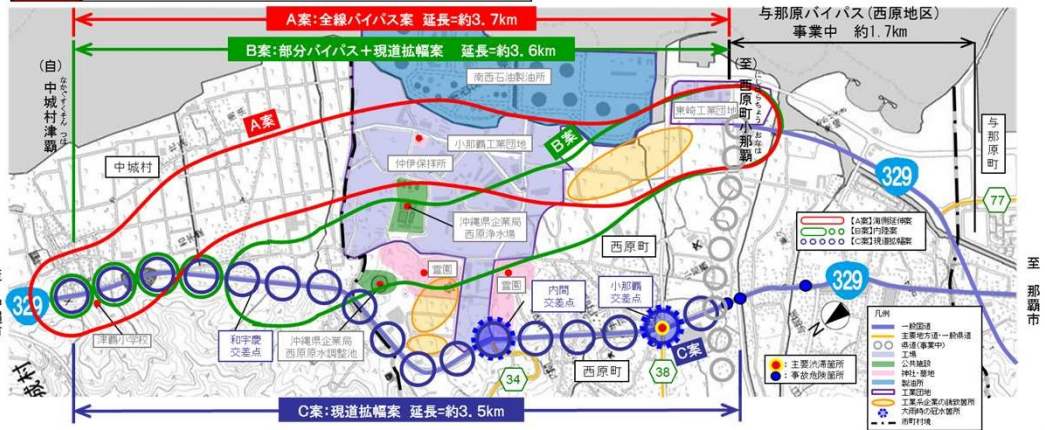
4. 対策案の検討

評価項目	評価指標	【A案】全線バイパス案	【B案】部分バイパス+現道拡幅案	【C案】現道拡幅案				
		新規バイパス4車線整備 延長 約3.7km	新規バイパス4車線整備+現道4車線活用 延長 約3.6km	現道4車線活用 延長 約3.5km				
産業振興を支援する道路ネットワークの強化	物流拠点施設間のアクセス時間(中城港湾~小那覇工業団地)	・速達性が向上(現況に比べて約7分短縮)(B、C案より短縮)	◎・速達性が向上(現況に比べて約6分短縮)(C案より短縮)	○・速達性が向上(現況に比べて約4分短縮)				
	物流拠点施設間のアクセス時間(那覇空港~小那覇工業団地)	・速達性が向上(現況に比べて約17分短縮)(B、C案より短縮)	◎・速達性が向上(現況に比べて約16分短縮)(C案より短縮)	○・速達性が向上(現況に比べて約13分短縮)				
	主要施設間のアクセス時間(中城跡~畜場跡)	・速達性が向上(現況に比べて約9分短縮)(B、C案より短縮)	◎・速達性が向上(現況に比べて約8分短縮)(C案より短縮)	○・速達性が向上(現況に比べて約4分短縮)				
	主要施設間のアクセス時間(中城港湾~MICE施設)	・速達性が向上(現況に比べて約7分短縮)(B、C案より短縮)	◎・速達性が向上(現況に比べて約6分短縮)(C案より短縮)	○・速達性が向上(現況に比べて約5分短縮)				
交通の円滑化	主要な渋滞箇所(小那覇交差点)の回避	・主要な渋滞箇所を回避	◎・主要な渋滞箇所を回避	◎・主要な渋滞箇所を回避できない				
	渋滞損失時間 ^{注1)}	・渋滞損失時間が最も低い(552万人・分/年)(B、C案より低い)	◎・渋滞損失時間が2番目に高い(2,464万人・分/年)(C案より低い)	○・渋滞損失時間が最も高い(3,127万人・分/年)				
	国道329号の混雑度 ^{注2)} (和宇慶地区周辺)	・混雑度が低下【現況】1.45 ⇒ 【整備後】0.18 (C案より低い)	◎・混雑度が低下【現況】1.45 ⇒ 【整備後】0.08 (A、C案より低い)	◎・混雑度が低下【現況】1.45 ⇒ 【整備後】1.02 (現況に比べて低下)				
	国道329号の混雑度(小那覇交差点周辺)	・混雑度が低下【現況】1.34 ⇒ 【整備後】0.40 (C案より低い)	◎・混雑度が低下【現況】1.34 ⇒ 【整備後】0.25 (A、C案より低い)	◎・混雑度が低下【現況】1.34 ⇒ 【整備後】1.29 (現況に比べて低下)				
災害時に強い道路ネットワークの確保	冠水想定箇所通過数	・冠水想定箇所の通過は無い	◎・冠水想定箇所の通過は無い	◎・冠水想定箇所を通過(2箇所)				
地域への影響	土地利用・施設・文化財への影響	土地活用など	・将来の土地活用への影響は少ない。	◎・土地を斜行するため、将来の土地活用(まとまった土地の確保)が困難。 △・企業局(浄水場)への影響が懸念され、事業執行への影響も想定(埋設物の補償費増加)。	△・現道の沿道施設への影響(用地買収など)が大きい。			
	生活環境への影響	大気質・騒音等	・集落を回避しており、地域の分断や騒音振動等の生活環境への影響が最も小さい。	○・集落を回避しているが、一部、現道を拡幅するため、交通量の増加に伴い、沿道施設等に騒音振動等による生活環境の悪化が懸念される。	△・交通量の増加に伴い、沿道施設等に騒音振動等による生活環境の悪化が懸念される。			
	自然環境への影響	動物の生息地や植物の生育地等	・他案に比べ田園地帯を通過するため、自然環境への影響は最も大きい。(B、C案より劣る)	△・田園地帯の通過は比較的少ないため、自然環境への影響は少ない。(C案より劣る)	○・全線で現道を改良するため、自然環境への影響は最も少ない。			
	影響する家屋数	移転などが必要な家屋数	約50軒(B、C案より少ない)	◎	約130軒	△	約130軒	△
	コスト	建設に要する費用	約120億(B、C案より少ない)	◎	約150億円	△	約140億円(B案より少ない)	○

標準断面図(土工部)



注1) 渋滞損失時間: 交通渋滞に伴う速度低下により発生する所要時間の損失を表す指標である。
 注2) 混雑度: 道路の混み具合を表す指標で、通常1.0を超えた場合、混雑している可能性がある状況を示す。
 【凡例】 ◎: かなり改善・満足する ○: 改善・満足する
 △: 一部改善・満足する ×: 他案に比べて劣る。



対応方針(案): 【A案】による対策が妥当

【計画概要】 ながみ なかくす ながみ にしはら おなほ
 ・路線名: 一般国道329号、区間: 中頭郡中城村津覇～中頭郡西原町小那覇、概略延長: 約3.7km、標準車線数: 4車線
 ・設計速度60km/h、概ねのルート: 【A案】全線バイパス案の通り

(参考) 当該事業の経緯等

- 当該事業の経緯**
- 平成29年 計画段階調査開始
 - 平成30年3月 沖縄地方小委員会 (第1回) 実施
 - 平成30年7月 意見聴取 (第1回) 実施
 - 平成30年12月 沖縄地方小委員会 (第2回) 実施
 - 令和1年6月 意見聴取 (第2回) 実施
 - 令和1年12月 沖縄地方小委員会 (第3回) 実施
- 地域の要望等**
- 平成27年11月 西原バイパス(仮称)延伸整備に向けた住民決起大会の開催
 - 平成27年11月 東海岸地域サンライズ推進協議会(北中城村長、中城村長、西原町長、与那原長) 国道329号バイパス延伸を要望(副総理、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣)
 - 平成28年11月 東海岸地域サンライズ推進協議会(北中城村長、中城村長、西原町長、与那原長) 国道329号バイパス延伸を要望(副総理、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣)
 - 平成29年3月 東海岸地域サンライズ推進協議会(北中城村長、中城村長、西原町長、与那原長) 国道329号西原道路(仮称)の事業化について(国土交通大臣)
 - 平成29年6月 東海岸地域サンライズ推進協議会(北中城村長、中城村長、西原町長、与那原長) 国道329号西原道路(仮称)の事業化について(国土交通大臣、内閣府沖縄担当)
 - 平成30年11月 沖縄県道路利用者会議、他3団体 沖縄県中部地域の道路網の整備促進に関する要請書等(国土交通大臣、内閣府沖縄担当)
 - 令和1年10月 沖縄県道路利用者会議、他3団体 沖縄県中部地域の道路網の整備促進に関する要請書等(国土交通大臣、内閣府沖縄担当)
 - 令和3年1月 東海岸地域サンライズ推進協議会、国道329号西原道路整備促進協議会 国道329号西原バイパスの早期事業化について(国土交通大臣、財務大臣、内閣府担当大臣)